

1. 「生産者と向き合う総合水試」情報収集発信事業

一丸俊雄・水田浩二

コンピュータシステムを活用して、水温情報、漁獲情報、魚病情報等、水産研究にとって有用な各種情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。

また、専門的な研究情報の提供と、漁業現場等のニーズの把握を目的に、移動総合水産試験場(出前水試)を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースに188件を新たに登録した。

魚病データベース登録件数：累計5,185件

2. 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースに13,029件を新たに登録した。

海況データベース登録件数：累計384,988件

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

開設しているホームページ上で、以下の情報を提供した。主な内容は以下の通り。

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 漁海況情報
- 水温情報
- 最新の試験研究話題
- マリンラボニュース
- トピックス 等

※「愛称マリンラボ長崎」は2月末日で閉鎖した。移設先は「長崎県庁ホームページ」→「地方機関」→「研究機関等」、アドレスは以下のとおり。

<http://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

2. FAX情報サービス

FAXによる情報サービスを行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
 - 赤潮情報
- 情報発信件数：計7,270件

3. 情報誌の発行

「平成30年度の主な成果」を発行(平成31年3月)し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 移動総合水産試験場の開催

漁業者等への研究成果の提供と、試験研究への現場ニーズの反映を目的に移動総合水産試験場(出前水試)を開催している。平成30年度は、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて開催することとして、次のとおり県内6地区で9回開催した。

- 壱岐市石田町
平成30年4月26日、出席者：25名
- 対馬市美津島町
平成30年5月28日、出席者：41名
- 松浦市
平成30年5月30日、出席者：38名
- 松浦市鷹島町
平成30年6月4日、出席者：27名
- 松浦市御厨町
平成30年6月5日、出席者：23名
- 長崎市以下宿
平成30年6月25日、出席者：15名
- 壱岐市勝本町
平成30年7月24日、出席者：20名
- 壱岐市郷ノ浦町
平成30年9月6日、出席者：24名
- 西海市大島町
平成31年1月28日、出席者：19名

各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。参加者合計は232名。



「出前水試」の様子

(平成30年5月28日 対馬市美津島町にて)

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催



第16回水産科学フェア

「捕って触って放流体験」の様子

平成30年10月21日に、新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、同地区に設置されている国立研究開発法人 水産研究・教育機構西海区水産研究所、国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターと共催で「第16回ながさき水産科学フェア」を開催した。

三機関では、研究機関の地域貢献を目的に、施設の一般公開や各種体験型イベントを実施するとともに、サイエンスカフェを開催した。

当日の参加者は約1,000名で、三機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めて頂いた。

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝達し、その普及を図ることを目的に、記者室投げ込み、取材対応等の広報活動を行った。

平成30年度広報活動件数は27件。

(担当：一丸・水田)